

平和への願いを込めて

先の大戦から長い年月が経過し、戦争体験者や被爆者の高齢化により体験談を直接聞くことができず。しかし、私たちは、戦争や広島・長崎の原爆の記憶が風化しないよう、次代を担う子どもたちへ核兵器の恐ろしさや平和の大切さを継承していかなければなりません。

市では平成17年に「非核・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴え、これから子どもたちへ平和の尊さを提唱していきます。

問 市総務課

☎ 5335164

FAX 5335148

非核・平和都市宣言

私たちのまち まいばら には
青い空と緑にはえる山々
清流のせせらぎ
みのり豊かな田園
母なるめぐみの湖(うみ)がある

まちかどや広場には
子どもたちの歓声が
若者たちの歌声が
軒先からは人々の
静かな語らいがきこえてくる

遠く海をこえた かなたにも
同じ人々のくらしと
しあわせがある

しかし 今
地球をおおう核の脅威は
あらゆる命のいとなみを破壊し
かけがえのない平和を
一瞬にして 奪いさろうとしている

私たちは 知っている
核兵器が
生きとし生けるもの
すべてを破滅しつつして
何も もたらさないことを

私たちは 知っている
すべての人間が手をつなぎ
平和な明日に向かって
力をよせあうことが
どんなに大切で
すばらしいかを

悲惨なヒロシマ ナガサキの体験から
核兵器を
「持たず 作らず 持ち込ませず」の
非核三原則を全世界に訴え
戦争の放棄 恒久の平和を誓った
平和憲法を
私たちは 守ります

人々の明日にとって
子どもたちの笑顔が
若者たちの明るい未来が
いきいきとした命のいとなみが
永遠に続くことを願っている

私たちは 訴えます
核を持つすべての国々に
すべての核兵器を 今 すてよ！ と

この市民の声と 願いを
世界に広く訴えるため
ここに米原市は
「非核・平和都市」を宣言する

平成17年6月24日
米原市

米原市 平和祈念式典

戦没者の慰霊とともに
恒久平和のまちづくり
を願い開催します

日 時 8月7日(土) 10時～
会 場 ルッチプラザ
内 容 黙とう、戦争に関するスライドショーの上映など
そ の 他 新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者数を50席程度に制限します
問い合わせ 市 社会福祉課 ☎53-5123 FAX 53-5119

市長コラム 市政言

今年2月、戦争遺留品が米原市の遺族のもとに返還されました。遺留品は、昭和19年7月18日、サイパン島で戦死された岡田勘平氏の日章旗です。

遺留品が、これだけの長い時を経てふるさとへ戻ることができたのは、日本遺族会、県遺族会をはじめとする多くの方々のご尽力の賜物であり、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。遺留品は、ご遺族の方にとつてかけがえのないものであると同時に、市においても戦争の記憶をつなぐ貴重なものであり、平和の大切さを次の世代に引き継いでまいります。

市では、戦争の惨禍を二度と繰り返さないために、非核、平和の大切さを広く伝え、戦没者、戦争犠牲者への追悼の意を表する祈念碑について、遺族会をはじめ関係団体と連携して具体的な協議を進めてまいります。

米原市長 平尾 道雄